

古今和歌集 こきんわかしゅう
仮名序 かなじよ

やまとうたは、人の心を種として万の言の葉とぞな
れりける。

世の中にある人、ことわぎ繁きものなれば、心に思ふ
ことを、見るもの聞くものにつけて、言ひ出せるなり。
花に鳴く鶯、水に住む蛙の声を聞けば、生きとし生け
るもの、いづれか歌をよまざりける。